

めまいを起こす病気はさまざま

突然、めまいに襲われて、不安と恐怖を覚えない人はいません。

「とんでもない病気にかかったのではないか」

「脳におかしなことが生じたのか」原因となる病気に心当たりもなく、再びめまいに襲われたらどうしようか……」

こんな不安を抱えたまま、過ごしている人が後を絶ちません。

「実は、めまいを起こす病気は、多種多様にわたります。耳の病気で生じることがもっとも多いのですが、脳の病気や糖尿病などの生活習慣病が原因となっていることもあります。

あるいは、ストレスによる心因性のめまいや、服用中の薬によるめまいもあります。

めまいには4つのタイプ 目が回る「グルグルめまい」一言でめまいといっても、さまざまなタイプがあります。めまいには「グルグルめまい」や「フワフワめまい」「クラクラめまい」「ヨロヨロめまい」などがあります。

「回転性のめまい」とも呼び、突然、激しく生じるのが特徴です。その場に立っていらなくなったり、まっすぐ歩けなくなったりすることもあります。ひどい場合は嘔吐を伴うこともあります。「グルグルめまい」の原因としては、良性発作性頭位めまい症や前庭神経炎、メニエール病、突発性難聴などの耳の病気が考えられます。加えて、小脳出血や脳幹部出血などの脳の病気で生じることもあります。

足が地につかない「フワフワめまい」立ちくらみの「クラクラめまい」「フワフワめまい」とは、足が地についていないようなフワフワとした感覚のめまいです。

体が揺れるような感覚になるので、浮動性のめまいともいわれます。長く続いたり、繰り返し起きたりするところに特徴があります。「フワフワめまい」は耳や脳の病気のほかに、自律神経失調症や更年期障害、生活習慣病などでも生じます。



一方、急に立ちあがったときに、頭がクラクラして立ってられないようになる「立ちくらみ」もめまいの一種です。いわゆる、「クラクラめまい」と呼ばれます。脳に送られる血液の量が、一時的に不足することから生じます。目の前が真っ暗になって倒れそうになったりしますが、じっとしていると治まることが多いといえます。自律神経失調症や貧血などで起きやすく、耳や脳に異常がないことから、危険性の少ないめまいといえます」まっすぐ歩けない

「ヨロヨロめまい」タイプによって原因の病気がおよそわかることも「ヨロヨロめまい」は足元がグラグラしたり、まっす

ぐ歩けなくなったりするめまいです。体のバランスをとる平衡感覚が失われたように感じるめまいで、「動揺性のめまい」とも呼ばれます。「『ヨロヨロめまい』の多くは、小脳や大脳の異常から生じます。聴神経腫瘍や脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、椎骨脳底動脈循環不全などの脳の病気が原因として考えられ、すみやかに脳神経外科や神経内科などを受診する必要があります」めまいは、以上の4つのタイプに大別され、その原因もさまざまな病気が考えられます。

めまいが生じるのは、体のバランスをはかる平衡機能が乱れるからです。

「体の平衡機能の調節は、眼や耳、筋肉・関節などから得られた位置の情報が脳に送られ、脳がそれらの情報を整理・統合し、体の各器官へ指令を出すことではかられます。平衡

機能の、こうしたネットワークのどこかに異常が生じると、うまくバランスがとれなくなり、めまいが起こるのです。

めまいの原因でもっとも多いのは内耳の半規管や耳石器の障害

めまいの原因として、もっとも多いのは耳の病気です。耳は音を聞く働きだけでなく、体の平衡感覚を保つ役割も担っているからです。

「耳は外側から外耳、中耳、内耳に分けられますが、体の平衡機能に関係するのは内耳にある『半規管』と『耳石器』です」半規管は3本の細い管でできています。

半規管の根元を「半規管膨大部」と呼びますが、ここには感覚細胞が存在し、感覚細胞から感覚毛が伸びており、その上をクプラというゼラチン質が覆っています。

鈴木教授「頭が回転すると、半規管の中の内リンパ液と共にクプラも動きます。その動きが感覚毛を通じて感覚細胞に伝わり、脳へ伝達されることで頭の回転が感知されます」

一方、耳石器は水平面に位置する卵形嚢と、垂直面に位置する球形嚢の2つの袋からできています。袋の中には感覚細胞が並び、その上をゼラチン質の耳石膜が覆い、さらに耳石と呼ばれる炭酸カルシウムの結晶が数多くついています。

「頭が前後・左右、上下方向に動くと、卵形嚢と球形嚢の耳石が動いて重さのバランスが変わります。その変化を感覚細胞がキャッチし、脳へ伝えることで頭や体の前後・左右、上下方向の動きが感知されます」半規管は頭や体の回転を感知し、耳石器は前後左右、上下方向の動きを感知するのですが、これらの半規管や耳石器になんらかの障害が生じると、めまいが起こるのです。



「めまいが耳鳴りなど、耳の症状と同時に起きやすいのは、音を感じとる蝸牛という器官が、平衡機能に関係する半

規管・耳石器と一緒に、狭い内耳の中に収まっているからです。加えて、半規管・耳石器から脳へバランスに関する情報を伝える前庭神経と、蝸牛から音に関する情報を伝える蝸牛神経が、すぐ近くを並んで走っており、最終的には同じ経路を通過して脳へ通じているからです」一方、めまいと共に手足の痺れや激しい頭痛、舌のもつれ、意識の低下などが生じたときは、脳の病気が疑われます。ただちに精密検査を受ける必要があります。もちろん、めまい以外にほかの症状がなくても、受診してください。

「めまいならメニエール病か」と、早合点する人が少なくありませんが、メニエール病はめまいの原因の割にも満たないといえます。めまいの原因でもっとも多いのは、良性発作性頭位めまい症です。

鈴木教授「良性発作性頭位めまい症は、耳石器の耳石が耳石膜から剥がれ落ちることから生じます。体を動かしたときに耳石も動き、その情報が脳へ伝えられて体の平衡機能が保たれるのですが、なんらかの原因で耳石が剥がれ、半規管の中に落ちると半規管の神経を刺激し、めまいを引き起こすのです」良性発作性頭位めまい症によるめまいは、頭を動かしたときに「グルグルめまい」や「フワフワめまい」などを起こすのが特徴です。布団から起きあがろうとしたときや、物を拾おうとしてしゃがみこんだときなどに生じます。命にかかわることのないめまいで、あまり心配する必要はありません。